

がん検診受診率向上強化への 取り組みについて

がん検診受診率向上強化への取り組み

堺市におけるがん検診受診率及び精密検査受診率の向上と、医療費の削減及び死亡率の減少を達成するため、より効率的かつ効果的に、それぞれの組織の業務連携によるがん受診率向上に関連する取り組みを集中する事業を展開する。

事業イメージ

これまでの課題：それぞれの組織でがんに関する取り組みを行ってきたが、多くの事業で連携が取れずそれぞれに取り組みされており、受診につながる効果的な啓発等が行えていなかった。

①堺市、保健センター

これまでの主な取り組み

- ・イベントや地域へ出向いてのがん予防啓発の実施
- ・乳幼児健診等での禁煙指導、受動喫煙防止啓発
- ・各種がん検診の実施(集団・個別)
- ・健康づくり自主活動グループ育成
- ・地域がんサロンの開催
- ・小、中学校でのがん教育

③患者会など

これまでの主な取り組み

- ・がん患者会の会報誌の作成、講演会、交流会の開催
- ・店舗などによるがん関連事業啓発の実施、従業員への検診受診勧奨
- ・受動喫煙防止のための取り組み(店舗内、事務所内)

②がん診療拠点病院、地域医療機関

これまでの主な取り組み

- ・がん検診の実施、受診啓発、がん登録事業への協力
- ・緩和ケアの啓発、在宅緩和ケアマップの作成
- ・地域連携パスの導入実績の向上
- ・標準的ながん医療を受療できる体制の充実
- ・情報提供・相談支援機能の強化し、こころのケア、就労支援を充実

強 化 事 業

- ・検診台帳の作成と未受診者への勧奨と要精密検査者の追跡と管理【①、②】
→対象者名簿を作成、啓発パンフレット等の改良
- ・小、中学校でのがん教育の実施【①②③④】
→医師、看護師、がん経験者などによる授業と保護者への啓発
- ・医療機関、地域などとの連携【①②③④】
→保健センターを中心とした地域が一体となった啓発を実施

④学校、地域など

これまでの主な取り組み

- ・小6、中3でのがん教育の実施
- ・地域活動での健康づくりに関する活動実施

がん検診受診率向上強化への取り組み

これまでの受診率向上対策と予定

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度以降
堺市	節目年齢への案内送付、イベントでの周知				個人の特性に応じた勧奨を実施	
		受診促進企業との協定	パートナー登録開始、イベントの共催	協会けんぽとの協定	被扶養者への啓発及びがん検診の周知	
がん診療拠点病院				がん検診ポスター掲示	各種がんパンフレット配架、医療機関検診の充実	
市民団体等			各保健センターでがん経験談の講演開始		独自の取り組みを活用した啓発事業の開始	

強化事業の開始

個別通知による勧奨

関係機関などとの連携による啓発・勧奨

科学的根拠に基づく受診率向上策

米国疾病予防管理センター(CDC)では、受診者を増加させる介入方法に関する科学的根拠を示し、以下の方法を推奨している。
「個別受診勧奨」、「スモールメディア(個人特性に応じたパンフレット)」、「1対1での教育」

事業目標の設定

〔5年計画〕当面の目標として、平成26年度地域保健・健康増進事業報告の全国平均の受診率（69歳以下）を上回ることを目標とする（最終目標は市・職域併せて50％）。精密検査受診率は、国の許容値以上を目標とする

平成26年度実績	全国	大阪府	堺市	堺市の受診者数 (子宮、乳は2年間の受診者数)	全国平均受診率を目標とした場合の増加すべき受診者数
胃がん	9.3%	5.6%	4.2%	5,858人	7,061人
肺がん	16.1%	10.0%	4.4%	6,123人	16,242人
大腸がん	19.2%	13.9%	14.6%	20,246人	6,425人
子宮がん	32.0%	29.5%	33.0%	46,373人	—
乳がん(40歳以上)	26.1%	25.5%	24.8%	24,048人	1,160人

別途、具体的な強化事業の内容についても、上記の目標をもとに事業実施回数、参加者数などの目標値を設定する。

目標値達成条件(5年間で達成)

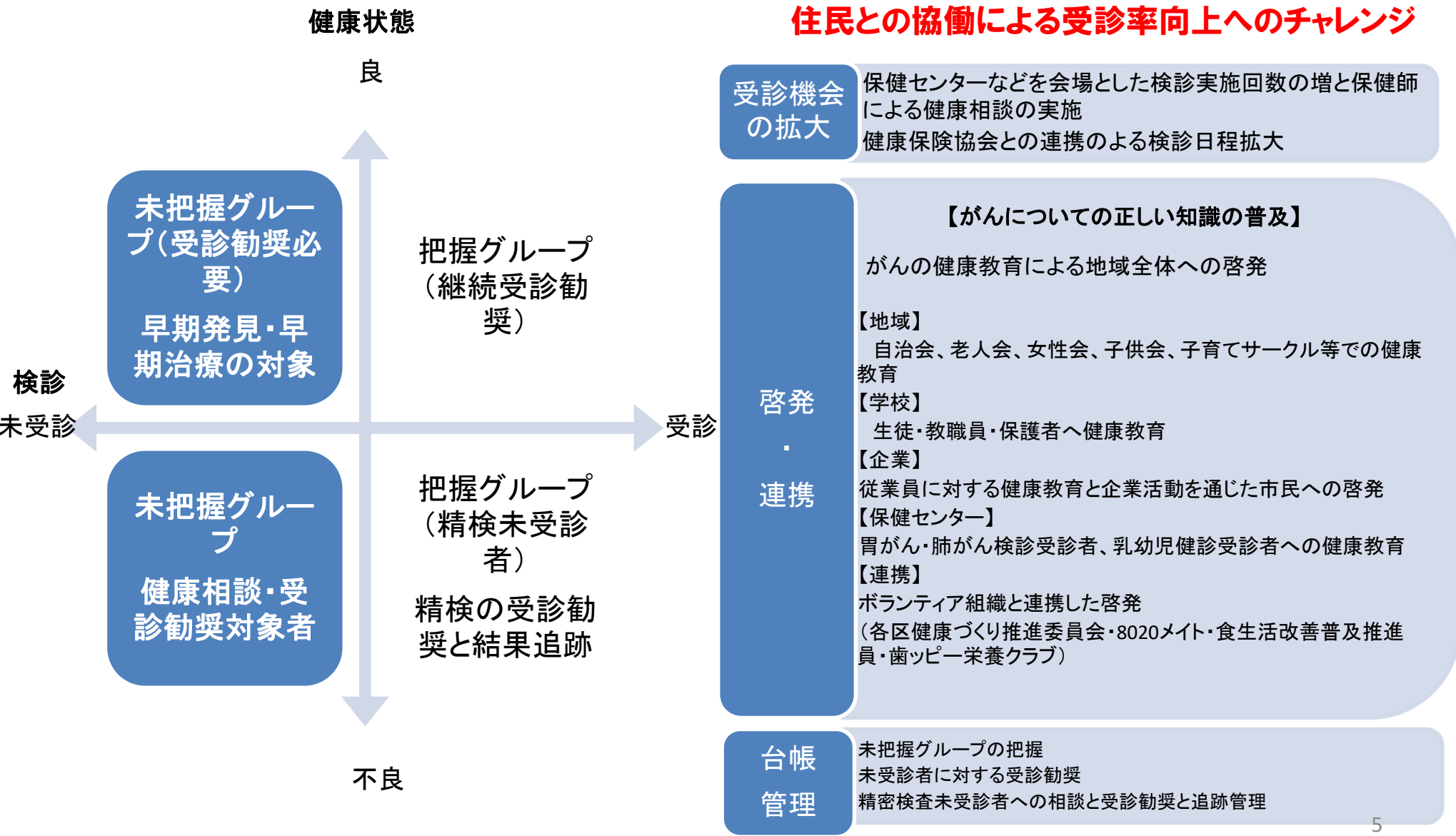
受診者数対前年比20%以上(子宮、乳は現状の受診者数以上を維持)

堺市がん検診受診率向上強化への取り組み

ターゲットの明確化

具体的な取り組み

住民との協働による受診率向上へのチャレンジ



受診率向上

○地域への啓発(自治会、老人会、女性会、子供会、子育てサークル等)

対象: 子供から老人まで

内容: 地域組織へ働きかけ、地域での集まりの機会を捉えて、がんの予防知識の普及のための健康講座等の出前教室を行う。がん検診制度のチラシなどによる周知も実施。

実施者: 保健センター(ボランティア組織含む)、医療機関、がん経験者

○学校への啓発(小学校、中学校等)

対象: 児童、生徒、保護者、教師

内容: 小・中学校で行っているがん教育を医師又は看護師などが行う。またPTAの研修会等の機会に医師による講演の実施、教師へ医師などによるがん教育の実施を行う。がん検診制度のチラシなどによる周知も実施。

実施者: 保健センター(ボランティア組織含む)、医療機関、がん経験者

○企業への啓発

対象: 従業員、経営者

内容: 受動喫煙防止対策、禁煙指導、がん検診の受診啓発、がんに罹患した従業員への治療と仕事の両立支援を実施。顧客に対してのがん検診受診啓発の協力も依頼。

実施者: 保健センター(ボランティア組織含む)、医療機関、がん経験者

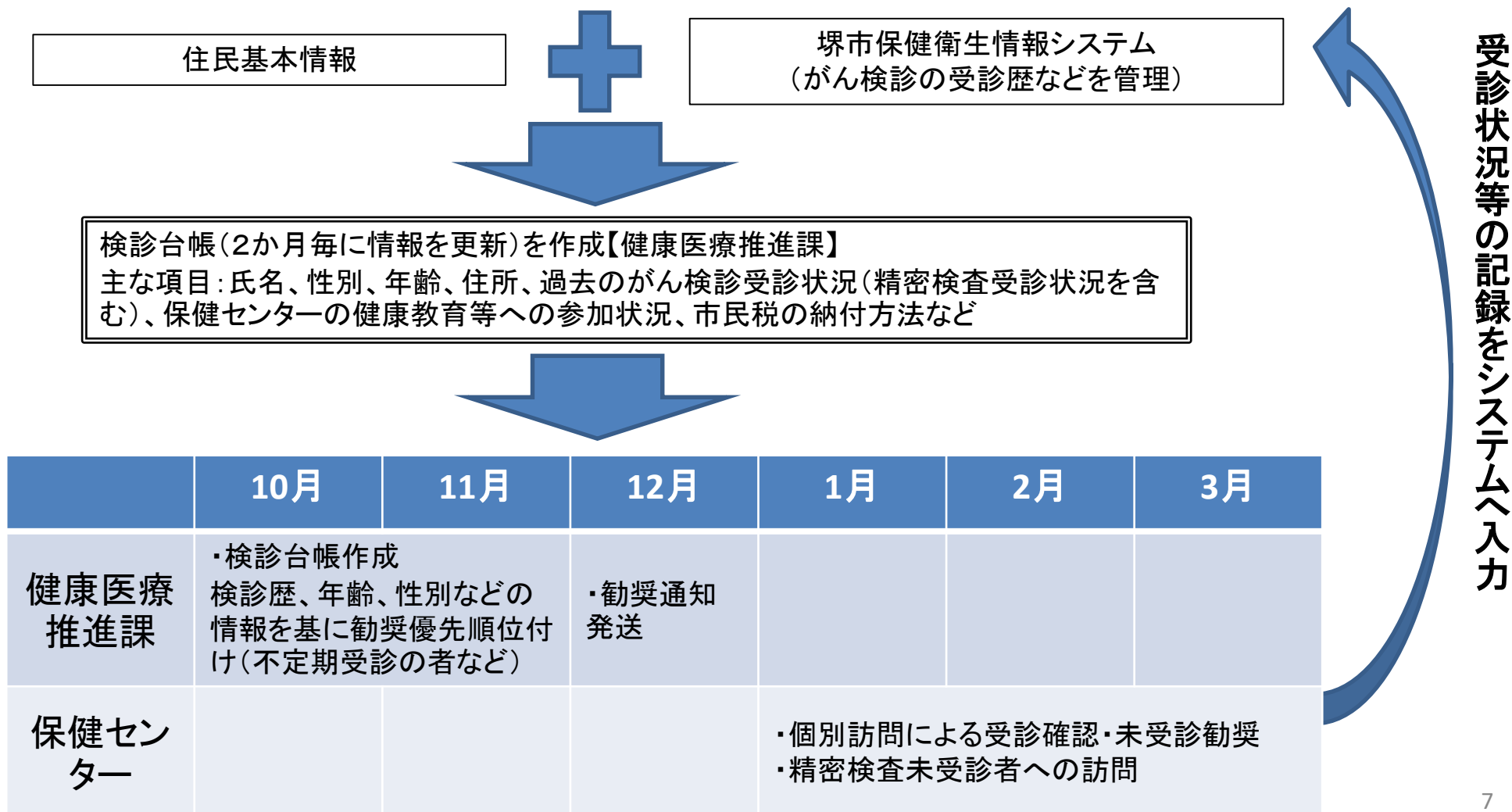
○胃、肺の個別検診実施、医療機関での受診勧奨及び堺市での台帳管理

内容: 胃、肺の個別検診実施。医療機関にてがん検診の受診勧奨を実施。また、精密検査依頼書の発行の徹底と精密検査実施報告書の報告の徹底。市では対象者台帳を作成し、がん検診未受診者への勧奨ハガキなどの送付。また、精密検査未受診の方への個別勧奨を実施。

実施者: 堺市、医療機関

検診台帳の作成と台帳を活用した勧奨【健康医療推進課、保健センター】

- 住民情報と健康情報のデータを組み合わせ、検診台帳を作成。
- 検診台帳を活用し、受診勧奨対象者の優先付けを行う。【過去5年間に1度しか受診していない者等を優先し勧奨】
- 実施した実績を入力し、事業実施評価の際に集積したデータを分析する。



検診台帳の作成と台帳を活用した勧奨対象者について

具体的な受診勧奨方法としては、まず、がん診療拠点病院が存在する3区(中、西、北)を管轄する保健センターの中から、先行実施する小学校区を設定し勧奨による効果を検証しつつ、以後、順次全市へ拡大していく。

○勧奨対象者は、以下の条件すべてを満たしている者を優先的に勧奨を行う

- ・ 年齢が46歳から69歳の者
- ・ 平成27年度に「大腸がん」を受診したが、平成23年度から平成27年度の「肺がん」受診歴のない者
→当面は、肺がん検診の受診勧奨を優先して実施
- ・ 国民健康保険に加入している者

取り組み先行区における対象数

	小学校区	校区全体対象人口 (46-69歳)		勧奨条件に一致		国保加入者のがん検診受診状況 平成27年度実績				勧奨条件に一致した者が 全員受診した場合の 肺がん検診の受診率
			うち国保		うち国保	肺がん	受診率	大腸がん	受診率	
中保健センター	土師	2,739	1,104	215	88	21	1.9%	99	9.0%	8.0%
西保健センター	家原寺	1,636	559	60	27	11	2.0%	37	6.6%	4.8%
北保健センター	北八下	2,435	974	153	87	18	1.8%	106	10.9%	8.9%

参考:各区の状況

中 区	38,333	14,665	1,833	873	390	2.7%	1,140	7.8%	5.9%
西 区	42,532	15,306	2,534	1,272	414	2.7%	1,644	10.7%	8.3%
北 区	47,064	16,376	2,279	1,123	383	2.3%	1,424	8.7%	6.8%

検診台帳の作成と台帳を活用した勧奨【健康医療推進課、保健センター】

40歳～69歳の国保加入者の今年度がん検診受診状況を確認

がん検診未受診者

- 【勧奨対象】 ・ 年齢が46歳から69歳の者
・ 平成27年度に「大腸がん」を受診したが、平成23年度から平成27年度の「肺がん」受診歴のない者
→当面は、肺がん検診の受診勧奨を優先して実施
・ 国民健康保険に加入している者
【対応】 受検勧奨案内送付
・ がん対策保健事業の案内同封

未受検

問題なし

要精密検査者
(二次検診対象者)
【*A】フォローへ

【対応】
保健センターによる個別訪問、電話等による受診勧奨

(※1)
全く受けていない人よりは、過去に受けたことがあるなら、受検行動を起こしやすいと考えられる。

→上記を実施し、がん検診未受診者が、どのような受検行動や保健事業等の参加へと変化していくかを追跡。受診者数が増えることで、国保外の対象者への波及も期待でき、全体の受検者数が増える。

がん検診を受検している者

【*A】
要精密検査者
(二次検診対象者)

問題なし

受検

未受検

【対応】
結果把握マニュアルに基づき、保健センターで未受検者の把握を行う。
その結果、約2か月過ぎても結果が確認できない場合は再度、未受検者に連絡を取り、受検勧奨する。

受診率向上強化への取り組み

中 区	西 区	北 区
<通年> ○区民評議会において健康づくり(がん検診受診率向上を含む)対策の検討を実施 ○健康づくり対策の新規事業を実施 ○管内大学や校区のイベントに出向きがん啓発の実施 <7月> ○拠点病院医師による大腸がん予防講演会 <8月> ○健康フェスタにおいて肺がん検診車による検診の実施およびがん啓発の実施 <10月> ○乳がん予防啓発イベントの実施(ピンクリボンウォーク、検診車による検診、医師講演会、啓発) <2月> ○歯科医師による講演会にあわせてがん啓発	<11月> ○健康フェスティバルでのがん検診の啓発 ○区民評議会にてがん検診受診勧奨が必要な状態であることを説明 ○学校就学前健診でのがん検診受診勧奨 <11月以降> ○地域の健康教育でがん検診受診勧奨 ○胃がん検診会場で、精検受診を勧奨 ○所内各種事業を活用した検診の案内 <12月以降>小中学校でのがん教育の実施	<11月> ○幼稚園 保護者対象がん健康教育 <12月> ○小学校 保護者対象がん健康教育 <1月> ○定健診未受診者対象への検(健)診受診勧奨 <1~2月> ○保健センターがん検診の啓発強化 <1月> ○がん健康講座の開催 <2月> ○小学校 就学説明会を利用したがん健康教育 <29年5月> ○学校 健康だよりへがん検診についての記事掲載

各区におけるこれまでの事業と10月以降のスケジュール

No.	取組	10月までの内容	10月以降の内容	28年度							
				4～8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	検診台帳を用いた受診者管理	・精密検診未受診把握、受診勧奨（通知）、成人保健システムへの受診結果入力	・がん検診未受診者への個別勧奨の実施。 ・精密検査未受診者への個別勧奨の強化（通知・電話・訪問）。	スケジュール 精密検査未受診者への通知 1次医療機関・精検実施医療機関への状況把握 精密検査未受診者への通知 1次医療機関・精検実施医療機関への状況把握の徹底							
2	乳幼児健診（平成27年出生数6968人）	3歳児健診時に女性のがん検診（乳がん・子宮がん検診の受診勧奨及び自己検診法の啓発を実施）	4か月健診（97.6％）⇒ 月12回 1歳6か月健診（97.1％）⇒ 月12回～13回 3歳児健診（90.4％）⇒ 月12回～13回 ＊ 乳がん・子宮がん検診の受診勧奨 ＊ 自己検診法の啓発を実施 ＊ 医療機関名簿の配布 ＊ 乳健の問診時に受診確認を行う 平成27年 出生数 6,968人	3歳児健診時（実績：1260人） 月12回～13回 検診対象者への個別通知 乳幼児健診時の啓発（出生数から推計） 4か月健診（全市：6,738人）⇒ 中区：568人、西区：576人 北区：800人 1歳6か月健診（全市：3,383人）⇒ 中区：566人、西区：578人、北区：803人 3歳児検診（全市：3,149人）⇒ 中区：527人、西区：538人、北区：747人							
3	検診会場での健康教育	・待ち時間を利用した【各種生活習慣病予防】をテーマとした健康教育を実施	・保健センターの実施する肺がん・胃がん検診時において【がん予防のための健康教育】【検診後の注意点】等健康教育・健康相談を実施	肺がん検診 看護師による健康相談の実施 胃がん検診 看護師による健康相談 東保健センター 美原保健センター 東保健センター 東保健センター 美原保健センター 東保健センター 中保健センター 中保健センター 東保健センター 北保健センター 美原保健センター 西保健センター 南保健センター							
4	学校保健と連携した健康教育	・小中学生に対する命の健康教育の実施 養護教諭連絡会でがん教育について検討	・がん診療拠点病院と連携した小中学生に対するがん教育の実施 ・教員及び保護者へのがん教育の実施 様々な機会 ・授業参観日 ・PTAの総会 ・就学時検診 ・就学説明会 校長・養護教諭等と実施に向けた調整後、実施。 まずは中・西・北区の保健センターを中心に調整に入る。	中・西・北区において、教育パッケージの作成。がん教育について継続的取り組みをするための準備 北区PTA向け健康教育 北区就学説明会の機会をとらえた保護者むけ健康教育 西区就学前健診での健康教育 中・西・北区の希望校での実施 中・北・西区小中学校での教育							
5	地域での健康教育	・各種生活習慣病予防についての健康教育の実施（いきいきサロン、自主運動グループ、老人会、自治会、民生委員会等）	・がんについての正しい理解の啓発 地域住民の集まる場所を利用（いきいきサロン、自主運動グループ、老人会、自治会、民生委員会等）に加え子育てサークルでの啓発） ・健康手帳の普及・啓発	地域住民への各種生活習慣予防の啓発 西区地域子育て広場等での健康教育 北区地幼稚園保護者への健康教育 西区所内各事業にて啓発							
6	その他工夫した事業			中区拠点病院医師による大腸がん講演会 中・西・北イベントでの実施 中・西・北区健康フェスティバルにて啓発の実施 中・西区民評議会にてがん検診受診率向上について説明 北区がん健康講座 西区他職種と連携しあらゆる事業での啓発を計画							